



# たかしま takashima

黄色いじゅうたんの迷路であそぶ親子。  
極彩色のこのまちの春、  
皆さんたっぷり楽しんでますか？  
さあ、お散歩しましょ♪



広報たかしま 2005.5.1発行

Takashima 2005 May No.5

## 高島市 歴史散歩 No.5

### 高島市の義経伝承

源平の争乱の活躍で名高い源義経は、平家追討に多大な功績をあげながら、その前後は数奇な運命をたどったことや、悲劇的な最後を迎えたことから、死後は、多くの人々の同情をあつめ、いくつもの物語や伝説に語り継がれるようになりまし。

なかでも、室町時代に成立した「義経記」は、義経の幼少時代と、兄・頼朝に追われて奥州へ向かう旅のようすを記したもので、数ある義経を主人公とした物語のうちで、最も有名なものとして知られています。



義経の隠れ岩

「と、今津を過ぎて海津に上陸し、さらに北国を目指していくよすがが描かれています。現在、マキノ町海津浜には「義経の隠れ岩」と呼ばれる、人がかんで入れるほどの穴のあいた岩があり、海津に着いた義経がこの岩に身を隠したという伝承が残っています。

また、今津町北仰には、北国へ向かう途中の義経一行が北仰に現れ一夜の宿を請うことがあったという伝承が伝わっています。村人たちは白米や野菜を持ち寄ってもてなし、一行は翌朝、感謝の印に村人に太刀を与え、海津方面へ落ち延びていったといいます。北仰の人々は、その太刀を彼らの食べ残



白米塚

した白米とともに埋め、塚を築きました。これが、現在に残る白米塚だといわれています。また一説には、この地の僧が残った白米に「南無阿弥陀仏」の名号を書き込んで、土中に埋めた場所とも伝えられています。

北仰の伝承は、船で海津に着いたという「義経記」の記述とは矛盾しますが、この白米塚の話は、高島市付近を通って北国へ落ち延びていったであろう義経一行への、地元民の哀れみや同情の気持が作り出したものといえるかもしれません。

(文化財課)



高島市



懐かしい雰囲気が  
浜通りにあふれていました。  
(今津アートクラフトフェスティバル)

編集後記

▼春は活力あふれる季節。市内でも多くのイベントが開催されています。ウキウキ気分が取材に出かけると、どの会場にも当たり前ですが、縁の下の力持ちがたくさんいてくださいます。お店や司会で盛り上げる人、黙々とゴミを片づける人、交通整理をされている人、連絡や調整に走り回っている人。大勢の人の「元氣」をこの会場でも感じます。皆さん、本当にありがとうございます。▼5月25日には初の市内全域を対象にしたイベント「チャレンジデー」が開催されます。(詳しくは8頁をご覧ください。)普段の運動習慣と健康生活を考える住民総参加イベントのチャレンジデーに皆さんぜひご参加ください。(広報担当)



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



Home Page Address  
<http://www.city.takashima.shiga.jp>  
Mail Address  
t-info@city.takashima.shiga.jp

### CONTENTS 目次

- 声 voice みんなの声を集めてみんなで創る高島市… 2・3
- タウントピックス… 4~9
- まちネタ写真館… 10・11
- そうだ、図書館に行こう♪… 12・13
- 健康生活してますか？… 14・15
- みんなの子育て応援します！… 16・17
- 情報お知らせ版… 18~23
- 5月の行事カレンダー… 26・27

5月号  
平成17年



発行・編集 高島市役所企画総務課  
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北側565番地 ☎0740-581-30  
高島市ホームページ <http://www.city.takashima.shiga.jp>  
高島市メールボックス t-info@city.takashima.shiga.jp